

# 玉手山学園広報

No.57 春号  
2008年5月25日発行  
総合学園広報誌

入学おめでとう！

この1年、どう学び、

どこまで伸びるか！



ようこそ玉手山学園へ 新入生

そして新任教職員の皆様

昭和17年（1942年）創立の学校法人玉手山学園は今年66周年を迎えます。幾多の新入生を迎え変わらず咲き誇る「学園桜」、万物の躍動を感じる春の息吹とともに新たに学園の一員になられた学生・生徒・園児のみなさん、「ご入学園おめでとうございます！」学園教職員は皆さんを心から歓迎いたします。また、新たに学園にご着任いただいた教職員の皆様、今春から学園スタッフの仲間です。教育人、私学人としてともに良質の教育サービスの提供に汗を流してまいります。

新入生・新任教職員の皆様、「ようこそ玉手山学園にお越しくださ

笑顔、あいさつ、  
心優しいマナーが  
あふれる学園に

理事長 江端 源 治

「いました！」この学園で最高の満足感、手応えのある充実感を確かに実感いたしました。今春の入学式で私は学園理事長として新入生の皆様に「頑張れ！」とエールを送り「皆さんが自分を鍛え磨き伸びるだけ伸びて欲しい！」との思いを伝えました。これは在校生教職員の皆様にも繰り返しお伝えし、しっかりと共有したい概念ですので、その骨子を以下に改めて申し述べます。

## ① 今春の入学式にて

① 学生・生徒・園児を「伸ばす」ことが、われわれ教育人の「責務かつ喜び」そのもの

数ある学校の中から、「自分を磨き、伸ばす場」として本学

園を選んだ新入生の皆さんの「持てる力を十分に引き出し、最大限に伸ばし育てる」このことが我々学園教職員の最大の責務であり、かつ喜びそのものです。全教職員は「皆さんを伸ばす」ことに情熱を燃やし、「知」の継承・伝達と創造・発展に努め、教職員自身も常に自らの向上を目指し続けています。

## ② 建学の精神「感恩」は学園の魂、誇り、証し

学園の建学の精神は「感恩」です。この世に生を享けこの世に生かされる者として、すべからず享受する数々の恩恵に感謝し、感動する豊かな感受性から湧き起こる強い情熱をもって実践・行動する。

この建学の精神「感恩」を体し「人に幸せをもたらす社会に貢献し得る人材」を育成することがわが学園の使命です。「人を幸せにする人を育てる」学園の一員に皆さんはなられたのです。人を幸せにする実践が皆さん自身の未来を切り拓きます。この建学の精神が、わが学園のすべての営為・教育実践の基本理念であり、「学園の魂」であるとも言えます。この建学の精神の意義がしっかりと共有され実践

されてこそ、わが学園の教職員学生・生徒・園児、そして卒業生としての誇り高き「証し」になるのです。生涯大切に胸に刻み込んでください。

## ③ 「志に徹する」 自分はどう成長したいのか？

自らの意志で選び、本学園に入学された皆さんが「入学してよかった、卒業してよかった」という確かな手応えのある学園生活を送り最高の満足感を得るために最も大切なこと。それは自らが「志に徹する」ということです。自分は本学で何を学び、どう成長したいのか？ 自分の夢は何なのか？ 確かな志すなわち目的・目標をしつかりと定め、その実現に向けて力強く粘り強く実践し続けてください。しかし、ここではつきりと申し上げねばなりません。教職員は総力を挙げて皆さんを支援しますが、皆さん自らの努力・実践なくしては、教職員の総力挙げての支援「も空しく宙に浮いたものになってしまいます。皆さんの可能性は無限です。

自分の力・可能性を信じ、わが学園で生き活きと「夢に近付いていく自分」、「新しい自分」を確かに実感できる価値ある大切な「時（人生）」を過ごしてください。待つのではなく自ら

が積極的に動いて、この学園生活で生涯のよき友、よき教師とめぐり合い多くの素晴らしい感動を得てください。

## ④ 笑顔、あいさつ、心優しいマナー

「笑顔、あいさつ、心優しいマナー」、今日の日本人が急速に「その輝き・温もり」を失いつつある人間性・価値観のひとつではないでしょうか？ 世界に誇る日本人の「奥ゆかしい礼儀正さ、淑やかさ、豊かな感受性」は一体どこへ「逝って」しまったのか？ どうすれば蘇り、伝えられていくのか？ 一人でも多くの人が気付き自覚し、恥ずかしがらず（「はにかみながら」でもいい）実践していくことが何より肝要です。

我々人間は「人の背中を見て



育ち、次は自分の背中が見られて”この世の中を伝えていきま”す。皆さんも学園生活のなかで人に親切にされ、とても清々しい気分になり、今度は自分が人に優しくするといったことが幾度もあると思います。それ”を大切にしてほしい。ぜひとも”心優しいマナー”が、「ありがとうございます」という感謝の気持ちで、「おはようございます」と笑顔で交わす爽やかさ・親しみが、率直に自然に伝えられていく気持ちのいい学園生活を皆がお互いに心がけ続け「笑顔、あいさつ、心優しいマナーあふれる学園」にしてまいりましょう。人として幸せに生きるために、学力の向上・科学技術の進歩等に先立って何より欠かせないことであるはずで

H20学園事業計画作成、学園HPに掲載

本紙2008年新年号(No.56)

に建学の精神、学園の使命、学園職員の責務など当学園のすべての教育研究活動の基盤となる理念、そして平成20年度学園運営基本方針を紹介いたしました。その理念・基本方針に則り、去る3月の理事会・評議員会において具体的な「平成20年度学園事業計画」が承認決定されました。学園の使命、各校園の教育目的・目標の達成を期し

て一層の良質の教育サービス提供の充実のため、本年度に重点的に取り組む施策などが具体的に記載されています。玉手山学園のホームページにアップしてありますので、学生・生徒の皆さんはもちろん、保護者の皆様もぜひご覧いただきますよう御案内申し上げます。(園児たちには、保護者の皆様からわかりやすく説明いただけると幸いです。)加えて各校園のさらに具体的な教育目的・理念、目標などは学生便覧、生徒手帳などにも記載されています。学生、生徒の皆さんは自分が今まさに通っている(大切な人生の時代(とき))を過ごす(学校が、「どんな人材を育てようとしているのか」ということ)を今一度確認し、新たな気持ちで勉学に励んでください。(ぜひご精読を！)

### 改正教育基本法の理念を具現化する教育振興基本計画策定(これからの10年)

改正教育基本法第17条に(教育振興基本計画)と題され「教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため……基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について……定め……公表しなければならない。」と明記されています。すなわち新しい日本の未来を切り拓く改正教育基本法の理念を具現化するために定

められるのが「教育振興基本計画」であり、今春に答申が中央教育審議会から渡海文部科学大臣に提出されました。危機に瀕している「わが国教育の再生・復興をかけ、「教育立国」の実現に向けた、これからの10年間のわが国教育の具体的な方向性を示すものであり、数値目標の明示が乏しいとの批評があるとはいえ「これからの日本教育の浮沈に関わる」といっても過言でないほど重要なものであります。教育振興基本計画の骨子を以下に紹介いたしますが、学園教職員の皆様は教育人・私学人としてしっかりと理解しておく必要があります。また「社会全体で子どもを育てる、教育の向上に取り組む」という観点から、保護者の皆様はもちろんのこと社会全体もがきちつと掌握・認識しておくべきことでもあります。

### 教育振興基本計画 今後5年間に特に重点的に取り組むべき事項

◎確かな学力の保証  
・「確かな学力」、「生きる力」の養成(新学習指導要領の実施小中学校)  
・教育における検証・改善サイクルの確立(学力・学習状況調査による検証)  
◎豊かな心と健やかな体の育成  
・道徳教育、伝統・文化教育、体力向上、体験活動の推進

・いじめ等問題行動等に対する取り組みの推進(教育相談等の充実)  
・幼児教育の推進(幼稚園と保育所の連携、教育内容の整合性等)  
◎教員が子ども一人一人に向き合う環境づくり  
・教員の資質向上(メリハリのある教員給与体系、頑張る教員の処遇充実、教員免許更新制等)  
・教員の子どもの向き合う環境づくり(適切な教員配置 教育現場のICT化等)  
◎手厚い支援が必要な子どもへの教育の推進  
・特別支援教育(公立小中学校)、不登校の子ども等の教育に対する支援  
◎地域全体で子どもたちを育む仕組みづくり  
・家庭教育支援、地域が学校を支援する仕組みづくり、子どもたちの放課後等の環境づくり

### キャリア教育・職業教育の推進 と生涯を通じた学び直しの機会の提供の推進

◎専門的職業人や実践的・創造的技術者の養成の推進(大学、短期大学、専門学校)  
・生涯を通じて大学等で学べる環境づくり(大学、短期大学、専門学校)  
◎大学等の教育力の強化と質保証  
・学士課程で身に付ける学習成果(「学士力」)の達成(教育内容・方法の改善、成績評価システム)

・教員の教育力向上のための実効ある取り組みの展開  
・認証評価制度、情報公開を含めた包括的な質保証の在り方の検討  
◎卓越した教育研究拠点の形成と大学等の国際化の推進  
・大学院教育の組織的展開の強化(国際通用性確保、高度な課題探求能力の育成)  
・大学の教育研究水準の高度化(科研費補助金の拡充、国公私大を通じた共同教育研究拠点の整備)  
・留学生30万人計画の策定・実施  
◎安全・安心な教育環境の実現と教育への機会の保障  
・子どもの安全・安心や食育など健やかな心身を育む取り組みを推進  
・就園奨励費、幼児教育無償化の歳入改革にあわせた総合的検討、私学助成など教育への機会の保障を図る



以上、骨子を記載いたしました  
が、われわれはこの基本計画をし  
っかりと見据え、心に響く生きた  
教育を形作っていかねばなりません。  
教育振興基本計画の趣旨・目的  
を踏まえ、本学園の使命、教育  
目的達成に最も相応しい学園教育  
体制を目指し続け、良質の教育サ  
ービスを提供し、「人々に幸せをも  
たらし社会に貢献し得る人材」を  
世に送り出し、社会に必要とされ  
る学園であり続けたいと願って  
います。

わが学園は「確かな教育力」と  
「あふれる情熱」、そして学生・  
生徒・園児たちを誇る

わが学園の誇りは建学の精神「感  
恩」に拠って立つ学園教育理念、  
「確かな教育力」と「溢れる情熱」  
を誇りとする教職員、そして「確  
かな志」と「心優しいマナー」を  
もった学生、生徒、園児たちです。  
本年度の学園構成員全員のご活  
躍を祈念して年度初めの挨拶とい  
たします。

# 進路状況

## 大学・大学院

大学の平成一九年度卒業生の進

### 平成20年度 進路状況

	全 体	社会福祉学科	臨床心理学科	健康科学科	福祉栄養学科
卒業予定者	621	328	113	104	76
就職希望者	535	292	77	94	72
就職内定者	517	284	70	91	72
内 定 率	96.6%	97.3%	90.9%	96.8%	100.0%
進学希望者	45	15	26	2	2
進学決定者	38	13	21	2	2
進 学 率	84.4%	86.7%	80.8%	100.0%	100.0%
そ の 他	41	21	10	8	2

路状況について報告します。

大学の就職におきましては、就  
職希望者五 三五名に対し、五一  
七名が就職（就職率九七％）と昨  
年に比べ三％増となりました。学  
科別では、社会福祉学科が就職希  
望者二九二名に対し二八四名が就  
職（就職率九七％）、臨床心理学  
科は就職希望者七十七名に対し七  
〇名が就職（同九一％）、健康科学  
科は就職希望者九四名に対し九一  
名が就職（同九七％）、福祉栄養  
学科に至っては就職希望者七二名  
全員が就職（同一〇〇％）いたし

ました。

次に国家試験の合格者ですが、  
社会福祉士合格者一二六名（昨年  
比二名増）、精神保健福祉士合格  
者二一名（昨年比九名増）となり  
ました。社会福祉士の合格者数に  
つきましては、全国二〇一大学中  
八位となっております。管理栄養  
士の合格者数は四三名でした。ま  
た、教員採用試験（公立養護教諭）  
は、一〇名の合格となり、昨年の  
五名から倍増いたしました。  
今年度も教育後援会と連携し、  
保護者と教職員が一体となり、就  
職率・合格率を高めていきたいと  
思います。

## 短期大学

短期大学の平成一九年度卒業生  
の進路状況について報告します。

一九年度の卒業生は三三三名、  
うち就職したものが二八九名、進  
学したものが二二名でした。

就職内定率（就職希望者に対す  
る就職決定者の割合）は、九六％  
（前年九九％）、就職率（卒業生  
総数に対する就職決定者の割合）  
は、八七％（前年八八％）と高水  
準を維持いたしました。

各科別の就職内定率と就職率は、  
それぞれ保育科が九九％、八三％、

歯科衛生学科が九六％、八六％、  
養護保健コースが九一％、八四％、  
医療秘書コースが九六％、九三％  
でした。

進学については、一二名中一一  
名が大学へ、うち一〇名が関西福  
祉科学大学へ進んでおります。

また、本学への求人についてで  
すが、総数二〇五六件と、好調で  
あった昨年度を上回る件数となり  
ました。

今年度も引き続き、教員の力強  
い指導と職員の支援を行い、就職  
内定率、就職率、および学科コー  
スにあった専門職率の高水準の維  
持・向上に努めてまいります。

表 1

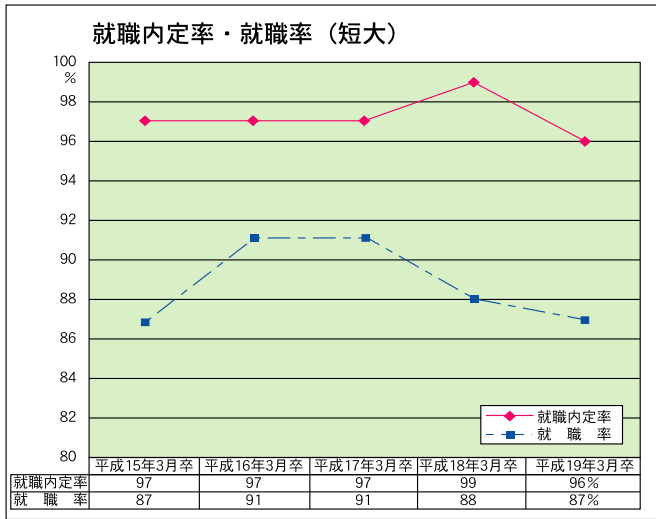
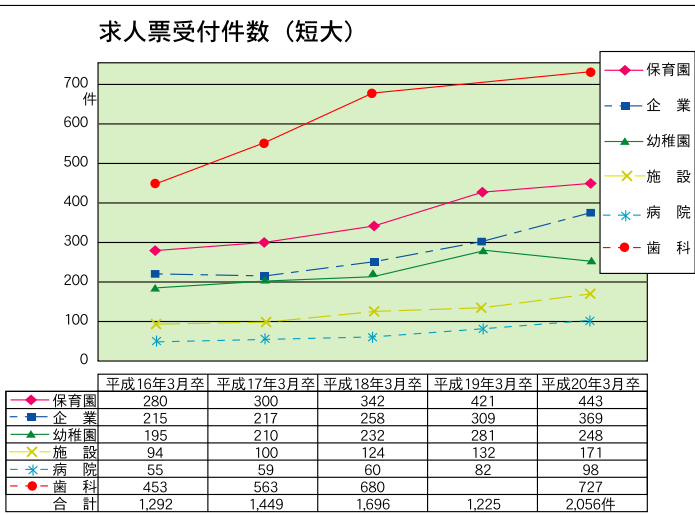


表 2





# 高等学校

四年制大学への合格者は112名で比率は36・4パーセントです。短期大学への合格者は44名で比率は22・2パーセントです。専門学校への合格者は58名で比率は28・3パーセントです。学園内進学は大学23名、短期大学28名、専門学校15名でした。

また主な大学での合格者数は、京都産業大学2名、近畿大学4名、摂南大学2名、追手門大学4名、桃山学院大学7名、東海大学1名、甲南女子大学2名などでありました。

就職状況については、昨年より申し上げましたが、公開求人への移行が進み、一定の学力が必要とされる状況に変化はありません。求職者数19名に対して求人票送付件数215社の求人がありました。就職内定者18名となりました。その内訳は指定校求人6名、公開求人6名、縁故3名、家業1名、公務員2名でした。

現状少子化が進む中、大多数の大学、短期大学、専門学校では入学者数を確保するために、様々な



入試種を設け半年以上にわたって、オンラインキャンパスや入学試験を実施されています。

質もさることながら、量を確保しなければ存続はあり得ないという命題に前向きに取り組んでおられると考えています。ある意味で大学などの二極分化の大きなうねりが想像以上の速度で本高等学校にも迫ってきていると分析しています。

そういう環境の中で本高等学校は本物の教育を実践し社会的な評価を得なければならないと考えています。

# 専門学校

平成19年度の卒業生は112名、就職希望者の就職率は100%。

進学は関西福祉科学大学へ12名、診療情報管理専攻科へ5名でした。薬局、企業、保育所への就職者5名以外は医療福祉関連施設に就職いたしました。

平成19年度 進路先一覧

学 科 名	性別	専攻科	福科大	特 養	病 院	老 健	診療所	児 童	薬 局	企 業	保 育 所	総 計
診療情報管理学科	女	3	2		1		3		1	1		11
診療情報管理専攻科	男									1		1
	女				3		1					4
介護福祉学科	男		6	5		1				1		13
	女		4	9	1	5						19
介護福祉専攻科	女			2	1			1			1	5
理学療法学科	男				16		1					17
	女				16		1					17
作業療法学科	男			1	8							9
	女				12	2						14
総 計		5	12	17	58	8	6	1	1	3	1	110

# 入学状況

## 大学・大学院

【新入生の入学は六六九名】

今年度は、六六九名の新入生を迎えました。（男性三三・八%、女性六六・二%）。学部一年生は五六一名、編入生は八九名、大学院生は二四名です。

昨今の志願者動向については、大学選択を早期に行う傾向が顕著に見られることから、本学ではオープンキャンパスを、昨年度より一ヶ月早い、五月から実施しています。

開催内容も在学生の更なる協力を得て、各学科の教員による「学び」「研究」を丁寧に伝える企画を中心に、本学での充実した学生生活を高校生に直接アピールできるように努めています。

また、今年度より更なる奨学金の充実を図るべく、一般前期入試Aと同様に公募推薦入試Aにも最長4年間の受給が可能な新たな奨学金制度を取り入れ、



本学でより多くの学生が修学できるようにします。

さらに、早期合格者に対しては、大学生活を迎えるにあたっての疑問や不安を解決し、「大学で学ぶ意欲、意識」を改めて高めてもらうことを狙いとして、入学までの期間に実施する「入学前教育」の導入も進めています。

このように、本学の「学び」と「研究」が他の大学とは異なった素晴らしいものであることを明確にし、社会に対する高い目的意識を持った入学生の確保に全力で立ち向かっていく所存です。学園関係者の皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。



## 高等学校

【入学者数は一九六名】

今年度の入試の状況は次のとおりです。志願者数一一四八名、入学者数は特別進学Ⅰコース一七名、特別進学Ⅱコース一二四名、総合進学コース五五名です。

高校では、「新生・関西福祉科学大学高等学校」を旗印に教育内容を一新し、特別進学Ⅰコース、特別進学Ⅱコース、総合進学コースを導入し、今年度で三学年までそろふことになり、それぞれのコース毎に掲げた目標に向かって邁進しております。

今年度も引き続き、関西福祉科学大学高等学校の教育力を高め、学習指導のさらなる充実を図っております。具体的には、各コースで学習時間を拡大（特別進学Ⅰコースでは公立高校の約一・五倍）、そのカリキュラム内容をより精選し、一層充実させました。

「学力診断テスト」を導入することにより、学習、および進路指導に活用、目標達成に向け、精力的に取り組んでおります。また総合進学コースでは、保育系・福祉系のプロの先生から講義が受けられる教養講座にも力を入れております。

総合学園として、併設大学・短大・専門学校との更なる連携強化

を図るなど、学園あげて懸命に取り組んでおりますので、今後ともご支援をお願い申し上げます。

## 短期大学

【入学者数は三三五名】

桜満開の入学式に、今年度は三五名の新生をお迎えしました。内訳は、保育科一一名、保健科養護・保健コース六二名、医療秘書コース五三名の保健科全体で一一名、そして歯科衛生学科に九名です。

いつものことながら、「良質の教育サービスを提供する」ことにより、学生たちの「満足度の更なる向上」を追求する責務をひしひしと実感せずにはおられません。

（志願者数について）

平成二十年度入試の志願者総数は三九二名で、前年に比べて一五名（四％）の微増でしたが、非常に厳しい募集環境が続いています。新しく始めたAO入試並びに指定校特別推薦等での出願比率が高まっているのが実情で、適格なニーズをつかみ志願者に育てることと根幹となる教育サービスの向上が大切になってきています。

今後とも総力を結集し最善を尽くしての学生募集活動並びに入試実施体制に取り組むと同時に、学

園関係者の厚いご支援ご協力を改めてよろしくお願い申し上げます。



## 専門学校

【入学者数は一二二名】

本年度、専門学校は一二二名の新生を迎えることができました。

最盛期一七〇名近くの入学者があったことを考えると特筆すべき数字ではないものの、昨年度一五名の入学者数に比べ若干ながらの増加であり、また、診療情報管理学科・介護福祉学科・理学療法学科・作業療法学科の四学科で入学者増となり入学者数の四年連続前年実績割れが続いていただけにようやくわずかながら光明が見えた気分です。平成二十年度学生募集においては診療情報管理学科・

介護福祉学科における指定校推薦依頼校の大幅増、理学療法学科・作業療法学科における指定校推薦入試の導入、推薦・一般入試の早期化、試験科目の軽減など数多くの対策をうった教職員一同の努力が報われたものと思います。

本校を取り巻く状況を見ると、まずバブル崩壊後一世を風靡した「大学・短期大学よりも資格が取れ、就職に有利な専門学校へ」という流れは過去のこととなり、大半の分野で専門学校志望者は大幅に減少しました。さらに企業の採用が極めて好調であることを反映してか大卒・社会人といった層の志願者が激減し十八才人口の減少と合わせて大学・短期大学以上に専門学校の学生募集は大きなダメージを受けました。

さらに、ここ数年間の特徴である医療・福祉分野の志望者減がさらに顕著となりました。福祉分野についてはマスコミにも頻繁に取り上げられているように介護福祉士養成施設の大半が大幅な定員割れを起しており、本校においても六十％強の充足率を維持するに留まりました。また医療分野においても数年前までのリハビリテーションブームは去り、特に作業療法においては一部の四年制大学を含めて三月後半になって連日二次募集の日程を設定するなど右往左往する状況となり、四月になって

から入試を行なっている学校が散見される状況に到っています。このように平成二十年度学生募集は全般に本校にとっては極めて過酷な環境下での募集活動となりました。この状況が次年度大きく好転することは予想されず、すでに四月中旬より各地で開催されている進学相談会の来場者数から勘案してさらに厳しい状況が予想されています。

こうした中、本年度はAO入試を初めて導入するほか、理学療法学科・作業療法学科においても指定校推薦依頼校の大幅増を予定するなど早期の確実な学生確保を図っていく所存です。また、学園内各校との連携をより進めることにより一名でも多くの入学者を確保したいと考えておりますので、学園関係者の皆様のご協力をお願いいたします。



# 学 園 トピックス

## 読書マラソン

### 1000冊読破者がいる

大学図書館 田原 里香子

図書館では、読解力や論理力を養うことができる《読書》を楽しむことができるようにスタンプリ形式の「読書マラソン」を実施しています。本を読み、感想を他の学生に伝えることで表現力を養うこともねらいとしています。ここでは、1000冊完走された方をご紹介します。

「卒業までに1000冊と言わず、500冊読みたい」と高い目標を掲げてスタートしたペンネーム「うさぎいちご」さんは、最短の9カ月で1000冊読破を達成しました。1000冊読破後も引き続き読書マラソンに参加している「あめゆじゆ」さん、「セフィロSepphiroth」さんは、「まだまだ、たくさん読みたい本があります。マイペースで進めていきたい」「文の書き方がうまくなった。

レポートで重宝している」と1000冊読破の感想を寄せていただきました。

2年間で1000冊読破を達成した「小鞠」さんからは、「いつも目標を掲げて物事に取り組んでも、中途半端に終わってしまい、成し遂げることはできませんでした。自分の好きなことで目標を達成できたことは、自信にもなりました」とうれしいコメントがありました。

また、小説以外の様々な分野の本を1000冊読破し、辛口コメントで図書館員を刺激してくれた「ほんよみ太」さんは、3年生の時に読書マラソンに参加し、卒論を仕上げながら1000冊読破を達成しました。

平成17年度から始めた「

読書マラソン」も1000冊読破者が5名となり、6人目の1000冊読破者も早々に出そうな勢いです。また、読書マラソンの応援企画として、おすすめ度の高い本の展示を4月、10月に実施します。

この「読書マラソンおすすめ本」コーナーは貸出率が高く好評です。

読書はちよつとした時間を活用してできる自己研鑽方法です。教職員も読書マラソンへのエントリが可能。何か始めたい気分の《春》、手軽な読書マラソンをお勧めします。



読書マラソンおすすめ本展示

## 新任・昇任教員研修会 開催

大学FD委員会 安藤 友規子

新年度を前にして3月1日(土)、新任・昇任教員研修会が開催されました。新任・昇任の先生方ばかりではなく、在職中の有志の先生方にも参加いただき盛会でした。

当日午前には、江端理事長の学園「建学の精神」および篠置名誉学長の「本大学・短大「教学」の当面する課題」について講演の後、所属ごとに岩瀬短大副学長、大学の小林・三戸両学部長



理事長あいさつ

によるそれぞれの学部の「教育理念とその実践」、江端事務局長の「教員の服務」について講話が行われ、午後からは「大学における人権問題」、「授業設計と教育指導」、「大学の教育方法」、「本学学生の特質」について森、山本、伊藤、乾原教授など各担当部長の先生方から講演いただきました。かなりハードなスケジュールにもかかわらず、終始熱心にご参加頂き大いに感謝している次第ですが、FD推進が義務化され、教育目標の明確化や成績評価基準の明示等々、教育力向上を期して私どもの取り組むべき課題



は山積しています。  
委員会としては  
今後も定期的に研  
修会や研究会を開  
催するほか、学内  
外のFD関係諸機  
関との連携を深め、  
全教職員挙げての  
活動にまで高めて  
いきたいと考えて  
います。

皆様方のご理解  
ご協力を賜ります  
よう、よろしくお  
願いたします。



篠置名誉学長の講演

## OB・OG相談会開催

社会福祉学科 佐藤 貞良

去る12月19日、本学を卒業し社  
会福祉の現場で活躍中の卒業生を  
招き、「先輩に聴く、福祉の現場  
と就職相談会」を社会福祉学科就  
職ガイダンスの一環として、本学  
で開催しました。当日は、福祉事  
務所、社会福祉協議会、児童養護  
施設、特別養護老人ホーム、老人  
保健施設、知的障害者福祉施設、  
身体障害者福祉施設、病院から15

名の卒業生がそれぞれのブースに  
分かれて、親切に相談に応じてく  
れました。

3回生を対象にしたこの「相談  
会」に参加した学生は、仕事の一  
日の流れや労働時間の実際、仕事  
のやりがいなどについて詳しく聴  
くことができ、就職活動の参考に  
なったと話していました。相談に  
応じた先輩たちは、後輩らが一人



相談会会場の様子

でも多く、福祉職場に就職してく  
れることを願っていること、その  
ためにも働きやすい職場にしてい  
かなければと決意を新たにしてい  
ました。

後日、将来の就職先と考え、職  
場訪問したA君は、「相談会」で  
色々な話をきいた先輩に再会し、  
自分の名前を覚えてくれていたと  
感激。また、職場訪問に行くと言  
っています。

## 保育士養成課程

### 開設記念講演会開催

大学 社会福祉学科

平成19年度から社会福祉学部社  
会福祉学科に保育士養成課程が開  
設されました。そこで、開設を記  
念して本年3月3日に本学におい

て「現代の子育てを考える」輝け  
！子どもたち」をテーマにした  
講演会・シンポジウムを社会福祉  
学科の主催で開催しました。開催  
にあたっては柏原市のご後援を頂  
き、そして地元地域の皆様方が多  
くご参加くださったお蔭で「子育  
てにおける心理学」の講演と「子  
育て支援について」のシンポジウ  
ムを無事に終えることができ感謝

しています。ありがとうございます。  
ところで、子どもを取り巻く環  
境が変化した現代は子育てが難し  
い時代と言われています。それ故、  
優れた専門性を備えた保育士の養  
成が社会から求められています。  
本学科ではこの要請に応えるべく、  
「社会福祉士」の資格をも併せ持  
った対人支援の専門家としての「保  
育士」の養成を目指していますの  
で、これからもどうぞよろしくお  
願いたします。

## 短大保健科40周年

### 記念研究集会開催

短大保健科 森川 英子

去る2月9日に短大保健科養護  
保健コース開設40周年記念研究集  
会を150余名の参加者の下、和  
やかに、そして学究的に開催でき  
ましたご報告と心からの感謝を申  
し上げます。

人間に例えましたら40歳という  
本コースは、まさに輝く円熟期と

なりました。先日は学生の予期せ  
ぬ苦境の際に卒業生の暖かいご配  
慮で教育活動を円滑に進めること  
ができた事例がありました。卒業  
後の長い年月にもかかわらず、後  
輩を育ててくださるお気持ちに胸  
が熱くなる思いがいたしました。  
この節目の時にコースを預かる



者として40年の歴史に只々、感謝の気持ちでございます。

現在は、養護教諭に関わる法律改正が近づくなど大変あわただしい状況になってまいりました。学生の一人ひとりが時代を見据えながら知識と技術を習得し、感性を磨きながら新しい時代の養護教諭として本学が構築した財産を一段

と発展させてくれるものと確信できる機会となりました。

また、この夏には、卒業生が長年、要望してきた養護教諭1種への認定講習を関西福祉科学大学主催ではありますが理事者の皆様の深いご理解により実現の運びとなりましたことも併せてご報告を申し上げますお礼といたします。

## 保育科「定期演奏会」のあゆみ

短大 渡邊 由美子

平成20年1月26日(土)に保育科主催「第6回定期演奏会」を開催いたしました。

この演奏会は2年間のピアノ学習の成果を発表する「研究発表会」として「音楽室」でスタートしたのですが、できるだけ多くの仲間の演奏を聴きたいという学生の要望もあり、次に学園記念講堂での「卒業演奏会」へと姿を変えました。講堂内がなかなか暖まらず、冷たい指でピアノに向かった卒業生たちの姿を思い出します。

和太鼓アンサンブルや教員の演奏など、プログラムも充実してきたので、この頃から音楽ホールでの「演奏会」を企画し、学園の協力を得、実



現しました。

1回目の「定期演奏会」は柏原市リビエール・ホール・小ホールでの開催でしたが、保育科全学生

の参加となると少々手狭であったため、翌年からステージを大ホールに移しました。

そして今年はその「定期演奏会」も6回目となりました。開会の挨拶では理事長の薫陶を受け、緞帳の後ろで160余名の附属幼稚園年長組園児が今や遅しと幕が上がるのを待っていました。園児たちのきらきら輝く元気な歌声や合唱講座受講者80名の人生の重みを感じる歌声が、ホールいっばいに響き渡り、この空間を共有した学生たちにとって貴重な経験になったことと思えます。

午後の部はいまや本学保育科の名物ともいえる「和太鼓アンサンブル」で幕を開け、ピアノソロ・連弾、コーラスなど、2年間の成果を発表。演奏し終えた学生たちの表情は清々しく、大きな達成感を味わったようです。

1年生にとつても音楽の楽しさ



や可能性を改めて味わう良い機会になったことでしょう。本学保育科教育力の一端を披露する行事として、保育科「定期演奏会」は進化しつづけます。

出演者に温かい拍手を送ってくださったご来場のみなさまに、心から感謝いたします。ありがとうございます。

## 第1回

## 関西医療技術専門学校

## 学術大会開催

去る平成20年2月24日(日)に第1回関西医療技術専門学校学術

大会を開催しました。この学術大会は、各分野(保健・医療・福祉)、

各職種(歯科技工士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、診療情報管理士など)で活躍している本校卒業生を対象にした学術的交流の場として、また、これまで得た知識・経験・技術を社会に発信するためのステップアップの場として開催致しました。

当日は約160名にもぼる参加者のもと、午前中は卒業生による10演題の口述発表、午後からは武田建先生(関西福祉科学大学教授、関西学院大学名誉教授)による「コーチングの心理学」と題した教育講演が行なわれました。

発表では積極的な他職種間の意見交換が行なわれ、また講演では、様々な人たちと接することの多い、医療福祉従事者である我々が、人に物事を伝える際に気をつけなければならぬポイントなどをお話いただきました。日々の業務においてとても重要な内容を、決して堅苦しい感じではなく、分かりやすくユーモアを交えてお話いただき、有意義で笑いの絶えない講演となりました。

また、会場前に「理学療法士が提案するユニバーサルファッション」というテーマの展示ブースを設けました。そこでは本校卒業生の理学療法士が中心となって作成している、障害を持った方々のおしゃれの試作品の展示が行なわれました。参加者に様々な意見を

頂き今後更なる改良が行なわれる  
とのことでした。  
医療福祉の分野ではチームアップ  
ローチの重要性が認識されてはい  
るものの、他職種が一同に会して  
意見交換する場合は意外に少ないの  
が現状です。本学術大会はそんな

数少ない意見交換の場として、ま  
た、卒業生のステツプアップの場  
として今後も開催していきます。  
第2回関西医療技術専門学校学  
術大会は平成21年2月に開催予定  
です。

## 生涯青春

### 細川美穂子さんに幸あれ!

#### 関西医療技術専門学校

去る3月12日に本校の介護福祉  
学科を卒業された細川美穂子さん  
のすばらしい人生をご紹介します。  
細川さんは昭和22年生まれの60  
歳、子育ても終え、夫の母親(平  
成17年10月他界)の介護をきつ  
かに介護の専門知識を学びたいと  
いう想いが強まり、「人生最後の  
勉強」と一念発起し、平成18年4  
月に本校に入学されました。

入学後は、自分の子供よりも若  
い同級生とともに「母親のような  
存在」として周りから頼られなが  
ら学び、一方で勉強に息切れし  
ている若い同級生を励まし、退学  
を思い留まらせることもありまし  
た。「この歳になって新しい知識  
を覚えるのは本当に大変。覚えた  
ことをすぐ忘れるの」と口癖のよ  
うにいいながらも努力を重ね、成  
績は常に5位以内をキープ。パソ

コンも入学してから習い始めたに  
もかわらず、課題研究のレポー  
ト作成等において同級生にアドバ  
イスできるほど上達されました。  
細川さんは全てのことに向向き  
で、彼女の行動そのものが同級生  
に及ぼす影響は計り知れないもの  
がありました。2年間の在学中は  
勉強と家事の両立で非常に多忙な  
時間を過ごされましたが、見事主  
席で本校を卒業され、あわせて日  
本介護福祉士養成施設協会会長賞  
を受賞されました。そしてこの4  
月からは介護老人保健施設にて介  
護福祉士として活躍されています。  
細川さんのように高い志を持つ  
た方を受け入れ、優秀な成績で送  
り出すことができましたことを、  
本校教職員一同、大変誇りに思っ  
ています。

## 春季大学見学会実施

高校 安田伸一

生徒の進路決定に繋がることを  
願い、大阪教育大学・関西大学・  
近畿大学のオープンキャンパスに  
参加いたしました。  
生徒達には事前に自分自身が必要  
としている情報を整理し、見学内  
容を取捨選択するようガイダンス  
を行いました。

#### 【関西大学】

3月22日 参加者36名

受付を済ませ、入試説明会には

全員参加、その後、学部紹介・ミ  
ニ講義・キャンパスツアーとそれ  
ぞれの目的に応じ参加しました。

#### 【近畿大学】

3月27日 参加者34名

学生食堂で昼食を済ませ、文系  
(国・英)、理系(英・数)に分  
かれ模擬授業を受け、キャンパス  
で行われていた吹奏楽部とチアリ  
ダーによるパフォーマンスを観な  
がら大学を後にしました。

#### 【大阪教育大学】

4月1日 参加者16名

あいにくの雨模様ではあり  
ましたが、新入生を歓迎す  
るサークル活動が活発に繰  
り広げられており、大学生  
活を垣間見ることができま  
した。そんな中、私たちは  
大学概要と、20年度入試状  
況の解説を伺い、施設案内  
をしていただき帰路につ  
きました。

3大学の春期オープンキ  
ャンパス参加は生徒達の進  
路決定に大いに参考になっ  
たことと確信しております。

## AED講習会

開催

法人本部施設部

田堀富造

去る3月5日、6日の両日、柏  
・羽・藤消防組合様より講師をお  
招きし、各校園の教職員総勢29名  
が参加しAED操作の半日講習会  
を実施しました。

AED(自動体外式除細動器)  
は、最近公共施設(駅、学校、病  
院等)に設置され、一般の人がそ  
れを使用して人命救助したニュー  
スが新聞でも取り上げられていま  
す。

本学構内においても、昨年末に  
は5ヶ所に設置しました。今年度  
は高校校舎にも2ヶ所設置し、計  
7ヶ所に設置されることになりま  
す。

教職員の皆様には、緊急時に備  
えて、

①どこにAEDが設置されている  
か  
②その使用方法はどのようにする  
のか

は最低限の知識として知ってい  
ただきたいと思えます。

AEDは、優れものでその音声  
の指示に従って操作すれば誰でも  
扱えるようになっていきます。



また、心臓が動いている人に間違っても、機器が心音を読み取って使用の必要性の無いことをしゃべりますので、誤作動することはありません。

尚、現在設置済みの5ヶ所は

- ①短大1号館玄関
- ②短大3号館

玄関ホール

- ③学園本館

玄関ホール

- ④大学本館

玄関ホール

- ⑤学園総合体育館「D・O・夢」管理



AED機器取扱い説明



人形を使っでの心肺蘇生実地訓練

事務室です。  
人身事故などトラブルに遭遇時は、まず救急車を手配することが最優先ですのでお忘れなく！



## 世界で活躍!! 福科大卒業生

法人本部

去る2月、財団法人小野奨学会より、遠くガーナから同財団に手紙が届いたとお話がありました。手紙の主は関西福祉科学大学の卒業生（平成13年卒）のAさんです。Aさんは在学中に小野奨学会から奨学金を受けて勉学に励み、卒業後は青年海外協力隊の一員としてガーナに渡り、現地でエイズ対策活動をしてられます。手紙には「ガーナでの活躍の様子と、学生時代、奨学金により支えてもらったことに対する感謝の念が書かれています。以下手紙の一部をご紹介します。」

「ごぶさたいたしております。関西福祉科学大学在学中に貴会から奨学金を頂き、大変お世話になりました。Aです。2006年3月未から青年海外協力隊でガーナにてエイズ対策活動をしています。任期は2年です。現在こうして元気に色々な活動ができるのも貴会のおかげであると大変感謝しています。」



春の里

「大変名誉なことです。」と喜んでいらっしやいました。Aさんの手紙を拝見してまさに本学の建学の精神【**感恩**】を実践されていると強く感じました。

## 食事は健康のバロメーター

### （あなたの食事は大丈夫？）

福祉栄養学科 小松 洋子  
法人本部施設部 田堀 富造

施設部では福祉栄養学科小松ゼミと共同で、学生食堂において健康に関する情報発信を行いました。この取組みは、学生食堂が食に

対する意識の向上や健康増進の一役を担い、有意義な学生生活を送ってもらうことを目的に実施しています。

#### 1、卓上メモの設置。

各テーブルの卓上メモは、食堂制作分と学生手作り分の2種類を設置しています。

食堂分は、表面に性別・年齢別の1日あたりの摂取目安量（kcal）を表示し、裏面に食堂メニューとそのエネルギー量及び食情報（ワンポイントアド）を表示しています。学生が作成した物は「野菜を食べよう！」「若いあなたも要注





学生手作り卓上メモ

小学校以来の裁縫箱を出してきて、文字通り、ひと針ひと針縫いました。一方、「食事バランスガイド」の勉強をしました。できあがったタペストリーを持ってゼミクラスに出向き、説明を聞いてもらいました。とても緊張しましたが頑張りました。説明内容について評価もアンケートしたところ、概ね好評でした。料理の種類を増やして食事バランスチェックに使えるようにして、オープンキャンパスや地域の健康まつりなどにも出かけていき

意 生活習慣病」など読んで役立つ健康情報です。  
**2、手作りタペストリーの掲示。**  
 学生がゼミ課題の中で制作した「食事バランスガイド」タペストリーを大学本館食堂壁面に掲示しました。  
 この食事バランスガイドは「見てわかる、1日に何をどれだけ食べたらよいかの目安」を料理イラストで示すもので、食事の栄養バランスにあまり関心のない若者にもこれを知ってもらい、自分の健康づくりに役立ててもらうことを目的として厚生労働省と農林水産省が作成しました。インパクトのある情報発信をするために手作りのタペストリーを作ることにしました。学生は



食事バランスガイドタペストリー

たいと考えています。  
**3、「こんなコンビニ弁当が食べたい学生コンテスト」入賞作品を食堂で試食。**  
 大阪府立健康科学センター所長賞を受賞したメニューを昨年末のプレラーニング行事において再現し、昼食弁当として提供しました。  
 H20年度の学生食堂メニューに目玉として追加検討協議中です。弁当のネーミング（素敵敵・食欲をそそる・本学らしい）もその考案者である学生さんに依頼し、早ければ6月中旬頃より販売を開



昼時の食堂窓口

始したいと考えています。  
**4、各種の食情報を掲示板にて周知。**  
 ① 本学健康科学科倉恒ゼミの新 聞掲載記事「めん食大学生疲れ 気味」  
 ② 幼稚園発行の新聞「おいしく たべようニュース」  
 ③ 日経新聞の「各種ラッキング 情報」、「あすへの話題（予防栄養学編）」など  
 上記の各取組状況は、

大阪府監修の「おおさか食育通信」のホームページでも「学生食堂における食環境整備の取組み」として紹介されました。一度ご覧ください。

<http://www.osaka-shokui-ku.jp/index.html>  
**5、味覚は、十人十色**  
 平成19年度には、学生食堂にて、学生の生活習慣や食堂への意識調査アンケートを行った。その結果、朝食抜きで睡眠不足・野菜不足の学生に慢性的な健康不良が見られた。野菜メニューも各食堂でも販売しているにもかかわらず、やはりから揚げ、めん類を食す学生が多いことも事実。味・量・ヘルシー度については賛否両論。 個別意見を多数頂いた中で、ハーフサイズ（レディースサイズ）や小鉢の煮物などの販売や(値段的にも)お徳メニューの販売など各食堂で対応・改善実施していく予定です。

**JR福知山線脱線事故 追悼慰霊**  
 政策室 井野 真由美  
 本学への入学間もない井上美里さんと折尾春菜さんの未来を突如として閉ざしたJR福知山線脱線事故から、早くも3年が経過いたしました。  
 本学では、事故発生からちょうど3年にあたる4月25日に追悼慰霊の場を設け、学友・学園関係者など総勢約150名が有文館西側にある「春の里」苑に集いました。冒頭、会場となった「春の里」苑が、お二人のご両親様から、「学生のために役立てて欲しい」との趣旨で頂いたご寄付をもとに造ら

れたものであり、お二人の名前から一文字ずつ頂いて命名した苑であるという経緯が説明されました。その後、事故発生時刻である9時18分に、参列者一同によってお二人に黙祷が捧げられました。お二人が本学に在籍したのはおよそ一ヶ月と、あまりにも短い期間でしたが、「春の里」苑の碑文にも記してあるように、JR事故によって阻まれたお二人の夢や希望、そしてお二人との思い出は、私たちの中に、そして「春の里」苑に生き続けていくことでしょう。



「春の里」苑で黙祷を捧げました。

## 幼稚園から

# 未来のJリーガー達か…？

幼稚園 大西 英子

平成19年5月からサッカーと英語の課外活動を開設致しました。課外活動とは、通常保育終了後、幼稚園児のクラブ活動のようなものです。園児や保護者からの希望が多く、やっとの開設といったところででした。私学の幼稚園では普通の取り組みとのこと。ちよっと乗り遅れた感がありました。幼稚園職員も不慣れただったため、

開設直後は、毎週、毎週、ハプニングだらけ、「〇〇先生、〇〇ちゃん、バスに乗っていませんが…。」「あつごめんさい。〇〇ちゃん、課外活動を受けるため、預かり保育です。」とこんな会話が飛び交いました。当初は、体験入部という園児も多く、その把握は大変困難なものでありました。普段の保育業務だけでも十分過ぎるほ



課外活動（サッカー）

ど頑張ってくれている教職員を思うと、果たして課外活動を導入したことが幼稚園のためであったのか、考えさせられたものでした。

5月、6月と過ぎ、課外活動入部希望の園児も増えて来ましたが、園児にまして驚いたのは、保護者の皆様の熱心なこと。毎回、練習日は、お子様の練習風景を少しも見逃さないぞ！とばかり、応援にこられていきます。夏の炎天下の下、秋風が吹き、寒い冬になっても園庭のコートの脇で応援されておられました。さすがお母さん！

英語の課外活動も

サッカーに比べれば人数が少ないとはいえ、毎回、毎回、保護者の皆様もレッスンに付き添われておられます。

平成19年度の秋から、学園総合

体育館のアリーナと武道場での剣道と柔道、リズム室を使って、3月からキッズダンスが加わり、課外活動も多種多様を極めてきました。そして、この春、新入園児も加わり、課外活動も立派な存在感を示してきました。週に1回の練習日ですが、どの子どもどの保護者も熱心に真面目に受講されている姿に、「ああ皆さん。喜んで下さっているんだ。」「課外活動は、教職員にとつては、大変な業務であっても、子どもたちやお母様の嬉しそうな、満足そうなお顔が見られることは幸せなことだ。」と今は我々も、影ながら、応援させて頂いております。

もしかすると、この中から世界に羽ばたく人材や未来のJリーガー、スーパードンサー、武道家が現れるかも…？そんな期待で胸を躍らせています。



## イノシシ対策フェンスを

# 設置しました

法人本部 中村 勇

去る4月8日（火）に近くの山から下りてきたイノシシが突然学園に侵入しました。（侵入経路不明）当日は幼稚園の始業式だった

ため、園児を守ろうとした教職員3名がイノシシに襲われ負傷しました。幸いなことに全員軽傷でしたがこの事態を踏まえ、学園では



施設の総点検をおこない、イノシシ対策の防御フェンスを増設しました。

シシを見かけた場合は決して近寄らず警察に通報してください。

なお、今後万が一学園内でイノ



新しく設置したフェンス

# 永年勤続表彰

法人本部

平成19年度の永年勤続表彰式が去る1月11日に理事長室でおこなわれました。当日は理事長より一人々に感謝状と金一封が渡され、ねぎらいと励ましのことがありました。

表彰された方は次のとおりです。

(敬称略)

○ 勤続15年表彰

- ・ 澤田崇子 (大学)
- ・ 四方明美 (大学事務局)
- ・ 福田尚美 ( )
- ・ 山本円香 ( )
- ・ 岩本 真二 (高校)
- ・ 豊島 一欽 ( )
- ・ 芹原 正子 ( )
- ・ 池田 昌弘 (専門学校)
- ・ 古賀幸智子 (本部)



# 医療秘書コース 同窓会設立発起人会開催

短大堀 初子

平成20年3月16日(日)、桜の開花には少し早かったのですが、好天に恵まれ、午後2時から医療秘書コースの同窓会の発起人会を開催いたしました。コースが創設されて30年になるこの節目の年に立ち上げることができましたことを大変うれしく思っております。

かなり前から、主任の先生方より「同窓会を開催したいですね」という御意見が、

当日は大阪はもとより、京都や和歌山、遠くは山口、東京からも含め約80名の卒業生の方々に参加していただき、久しぶりに元気なお顔を拝見することができました。

多事多端のおり、日曜日にもかかわらず、江端理事長はじめ、篠置名誉学長、江端事務局長、短大同窓会役員、そして医療秘

書コースのOB・現役の先生方9名が出席してくださいました。発起人会にいただきました数々の祝辞は卒業生にとって大きな励みになったことと思います。今後医療秘書コース同窓会の充実、発展を心から願っております。

